

令和4年7月理事会議事録速報

取締役会と同時開催なので、別途役員会欄に掲載の役員会便りと同一内容です。

催日時	令和4年7月23日 午後4時		開催場所	ブリックアンドウッドクラブ
出席者 (敬称略・ 議長以外各 50音順)	取締役兼理事 13名	議 場	木内 (代表取締役・副理事長)、田井 (理事長) 草深、小宮山 高橋、光岡、 以上6名 リモート 岡崎、生木 (副理事長)、新田見、橋本、以上4名 出席合計10名 欠席 井上、児玉、村岡 (田井理事長に委任) 以上欠席合計3名 以上委任状を含め出席合計11名	
	リモート参加 も議決権を有 す。 委任は理事会 のみ	執行役員兼理事 3名	議 場	無し リモート 寺島、 以上出席1名 欠席 志村 (木内副理事長に委任)、野村 (寺島理事に委任) 以上欠席2名、 委任状を含め出席3名
		最高顧問兼理事1名	議 場	坂 以上出席1名
		以上理事17名		委任状を含め15名参加
		監査役兼監事2名	議 場	出席無し 出席 0名
		傍 聴 理事でない執 行役員2名	議 場	井口、雪 以上出席2名
		MFC管理組合 事務局	議 場	出席無し 出席0名 篠本、松本、宍倉 以上出席3名

議題

理事会

1, 手続き事項

理事会は議事を行う定足数充足、取締役会も議決に必要な定足数充足。

2, 委員会報告等

① 競技委員会

明24日に理事長杯の決勝を行う。同時に月例競技も行なうが、今回からジュニアが参加する。

7月30日に予定通り Yokoso コンペを開催する。

② クラブライフ委員会

今後実施予定のイベントは、7月23日プールサイドの夕べ、7月29日のエール大学アカペラコンサート、10月8日ガゼボナイト

今後はレストランと各種施設の改善について意見を交換しクラブに提案するようにする。

そのためにレストランについては佐川様に助っ人兼アドバイザーとして入って頂いている。

➡上記に関係して坂最高顧問からレストランの従業員の問題について報告があり、一時は8月のレストラン営業を懸念する状態だった当面は営業出来るようになった旨報告があった。

③ グリーン委員会

7月10日に委員会を開催し、ラウンド後問題と感じた個所についてキーパーと意見交換を行った。

今月はエアレーションを行っている。

バンカーの砂を洗う機会を試行してみたが、結果は期待に反し今一つだった。

樹木の伐採は秋以降に行う。

カート道の修理を完全に行う場合の専門業者の見積を取ったが、34百万円かかる。

④ 広報委員会

特に無し

⑤ ジュニア委員会

6月のジュニアレッスンは24名の参加で、当日を含め10名のキャンセルがあった。

懸案のプロの人数確保は外部プロ3名が今後も参加してくれるということなので、5名確保出来そう。見守り先生は、フェロシップとクラブライフ委員会から出す旨申出を頂いたが、今後はジュニア委員会で回していけるようにしたい。6月のレッスン内容は7グループに分け、2グループがMFCの練習場を使った。熱中症に注意し、小まめな水飲みと日陰休憩を心掛けた。

7月10日のジュニアレッスンは事前キャンセルが15名有り参加が20名だったので、4グループで行った。レッスンのHP掲載は学校の規制などの問題があり、当面見合わせる。

⑥ フェロシップ委員会

BWCからのお願ひばかりでなくメンバーからの要望であるコースメンテナンスをやってほしいという意見に関して意見が多く出された。先ずは費用のかからものからやってほしいとの意見が多く出された。これに対し「何をやるにしても費用は一定程度かかるが、樹木の伐採や排水口付近のかさ上げ等実行することは決定している。こうしたことは委員会の中でも伝えてもらいたい。」との意見があった

3、次世代、次々世代につなげるミーティング

7月16日に開催した。7月31日の第2回ファミリー大会について現状15家族46名なので、名簿を見て声をかける。ルールや順位の決め方を協議した。

クラブの未来について、継承しやすいように、制度を時代に合わせ調整する必要がある。入会に関して分かり易いフローチャートの作成が必要との意見があった。

4、100年後も続くBWCに向けての論議の整理

木内副理事長から先月の会議で「2nd & 3rd」について出された多くの意見をまとめた文章は下記。本日の出された意見を含めさらに纏めてみる。

(現状)

- ✓ ここ5年ほど、年間30口の新規メンバー募集を目標として取り組み、前35期までほぼ35口から40
 - ✓ 口の募集を達成してきている。その結果、来場者増・年会費増・売上増につながってBWCの経営の安定に
 - ✓ 寄与しており、債務の返済も順調に進んできた。
 - ✓ このメンバー募集を牽引したのがコミュニティでの住宅建設であり、もともとのBWCメンバーによる住
 - ✓ 宅購入から始まり、その後非メンバーによる住宅購入とBWC入会がセットで進んだため、各期入会者の
 - ✓ 3割から5割はこうした住宅購入者が占めていた。
- コミュニティにおける宅地販売は概ね終了に近づいており、メンバー募集の牽引役としての役割も終わることになる。
- ✓ 今36期の募集は5月末で12口にとどまっており、30口の目標達成が危惧されているが、今期だけの
 - ✓ 話ではなく来期以降も自然体で臨めば同様の推移をたどる可能性が高い。
 - ✓ 一方で、毎期の退会者は30口程度となっており、この補充は每期実現していかなければならないし、今
 - ✓ 後数年のことではなく将来も含めた永遠の課題である。

(新メンバーの獲得に向けて)

- ✓ 新メンバーの獲得に向けては、メンバー全員が意識を持って取り組む必要があるが、古いメンバーはある程度誘える人を誘っているのので、やはり新しいメンバーの意識づけを行い、の勧誘に動いてもらうことが重要である（YOKOSOコンペでの意識づけなども今後必要）。
- ✓ 古いメンバー、特に在籍10年以上で70歳以上のメンバーについては、シニア会員の資格を持っており、自ら譲受者を探すことにより新陳代謝が図られることから、この層への働きかけも重要である。
- ✓ 既にメンバーの子・孫の存在が見えているのが100人以上いるST層であるが、この中は、①上記シニア会員への移行とともに子・孫への譲渡を促す人たち②シニア会員への移行資格はないが、子・孫を親族会員として入会させることを促す人たち、に分かれる。注意を要するのは、この層の勧誘対象はジュニアばかりではないということであり、例えば70歳代のメンバーが40歳代の子に譲渡するようなことが当然あり得る。

（取り組みの整理）

- ✓ 以上の通り、今後働きかけていく層は3つ〔新メンバーによる紹介、シニア会員への移行、2nd & 3rd（以下ST）〕である。 →一部重複する人たちがいる。
- ✓ 今、始まったSTの取り組みは、このうちの3番目であって、ファミリーゴルフ大会を通じて、2世代目・3世代目を巻き込んでいくことが目的となる。2代目については既にゴルフをやっている大人も相当数いるはずであるが、こうした情報収集も必要になってくる。
- ✓ ある程度2代目・3代目が確認できているメンバーに対しては、ファミリーゴルフ大会に誘引していくことになるが、情報のない人たちを掘り起こすためにも、全メンバーに対するファミリーゴルフ大会の案内は必須である。このSTの取り組みをしっかりと進めるためには、単にファミリーゴルフ大会の運営だけでなく、情報の収集や大会参加後のフォローも重要であり、その対応体制も検討していく必要がある。
- ✓ 以上記載の通り、STの対象層はジュニアに限らないことから、ジュニア委員会主催のジュニアレッスンそのものはSTの取り組みとは切り離して考えるべきであり、「メンバーの子女にゴルフに親しんでもらうとともに、それを通じて成長の手助けをしていく」よう、本来の趣旨に沿って今後も運営し、枠の拡大に伴う課題についてはまずはジュニア委員会で検討・対応していく（もちろんジュニアレッスンをきっかけにジュニア親族会員になるといったことは結果としてあり得る）。

4、ミューヘッド・フィールズ コミュニティ管理組合理事会報告

特段の報告事項無し。

取締役会

議題

議決事項

（1）株式譲渡承認について

株種類	譲受人	譲渡人	備考 (金額は税込・敬称略)
普通株	坪井春元	鈴兼米穀(株)	譲受人紹介者は中楯徳義、譲渡人指名会員は鈴木隆一・Cコース
普通株	(株)コジロー	田波佑三	譲渡人は休会中の元監査役・売価80万円
優先株	源 亮	水野麻紀子	下記普通株と交換、名変料44万。譲受人は住宅居住者で夫人はコジロー会員。譲渡人は家族会員の夫死亡。
普通株	水野麻紀子	源 亮	上記優先株と交換、名変料無料

➡上記（1）の株式譲渡を承認した。

報告・協議事項

(1) 最近のゴルフ場の売り上げ状況について

	本年6月	前年	前年比	内平日	前年比	内土日祝	前年比
営業日数(日)	29	29	0	21	0	8	0
来場者数合計(人)	2,577	2,727	-150	1,455	-298	1,122	+148
内 M	1,442	1,376	66	595	-26	847	+92
G	815	763	52	543	-7	272	+59
V	115	147	-32	112	-29	3	-3
N	205	441	-236	205	-236	0	0
ゴルフ場売上高(万円)	2,341	2,468	-127	1,277	-297	1,064	+170

6月の来場者数は2,577名で前年比150名の減少。メンバーとゲストが増加したが、ビジターとネットが減少した。平日は全ての資格の減少により289名減少したが、その内大半がネットの236名減少による。土日祝日はメンバーとゲストの増加により148名増加した。(無料来場者は38名増加なので有料来場者は188名減少)

この結果ゴルフ場売上は、2,341万円で前年比127万円減少した。

36期の期初来10か月間の累計では、来場者数が26,468名で前年同期間比1,439名減少(内ネット1,705名減少)し、ゴルフ場売上げ23,726万円で、前年同期間比849万円減少となっている。2月の雪による減少390万円に続き4月の350万円減少が大きい、5月6月も減少している。

7月22日迄の経過

来場者数は1,670名で、前年同日比188名減少している。(無料来場者は18名増加なので、有料来場者は206名減少)

平日は12日から19日迄の平日5日間の雨を主因に192名減少し、土日祝日は4名の微増。

この結果ゴルフ場売上げは1,458万円で前年同日比180万円減少。

上記当期中6月までの売上減少849万円を挽回したいところだが7月も減少中。

(2) 最近月の入退会状況について

6月の入会は2名2口(松川様・平田様)で、期中累計は12口16名。期中目標30口迄あと18口。7月の入会は22日現在で2口2名(ジローラモ様・小高様)
外に本日と先月の株式譲渡承認で入会手続き未済の人が2口有り。

(3) コースの状況について

理事会のグリーン委員会報告を参照。

(4) ㈱コジローへの返済について

当期末の8月中に㈱コジローに対し、40百万円以上出来れば50百万円程度の返済を実行したい。この資金でコジローは17年前に当社の銀行借入れを肩替わるためにメンバーから借入れた86,990万円の現在残高10,005万円の返済に充てることになり、今後1年半以内程度で完済の目途が立つことを明らかにできる。返済額確保のため、返済通知をお知らせした役員の皆様には、返済受入れのご協力をお願いしたい。

その後の返済は、追加保証金②の7,110万円と、ボイラーなど大型設備更新のため大口債権者から借り直した3,350万円が有る。

(5) 施設の有効活用について

①特段の報告事項は無し。

(6) ミュアヘッド・フィールズ、ミュアヘッド・ミュージアムに関して

①特段の報告事項は無し。

➡上記(1)から(6)について報告を受け協議の結果了承した。

以 上